

「妊娠・授乳中の服薬への意識に関する調査」 について

加古川中央市民病院薬剤部では、現在、入院患者さんのうち妊娠・授乳の経験がある患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

当院は「赤ちゃんにやさしい病院」認定施設であり、母乳育児を推進しています。妊娠・授乳中には持病や産褥期の体調のコントロールのため、お薬の服用が必要となるケースも多いですが、妊娠・授乳中の薬の服用に関して不安・疑問を抱かれる方も少なくありません。妊娠・授乳中に薬を服用することが赤ちゃんへどう影響するのか、十分な情報を得られずに「薬の服用中に予期せず妊娠し妊娠の継続に悩む」「慢性疾患を持つ女性が妊娠を考える際の障壁になる」

「母乳を与えたいがために必要な薬の服用をやめてしまう」などの問題が生じています。こうした不安や疑問のために不必要な妊娠・授乳の中断、服薬の中止が起きることがあり、医療者がより適切で有用な情報を提供することが望まれています。そのためには妊娠・授乳中に女性が抱える不安・疑問を把握することが必要であると考え、今回、妊娠・授乳中の服薬への意識に関する調査を行うことといたしました。調査はアンケートを用いて行い、回答は選択式と自由記入式を用いました。

【研究期間】

研究期間：院長承認日～2023年10月14日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

アンケート取得時の年齢、出産歴、服用薬の数・種類、アンケートに対する回答内容

【個人情報保護の方法】

研究期間中、患者さんの個人情報は厳重に守られるようにして研究は進められます。患者さんのカルテより収集させていただいた資料（データ）は期間中、匿名化した状態で第三者が閲覧できないよう、対応表を作成して保存いたします。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

この研究では、通常の診療とは別に、患者さんに新たに医療行為を行うことはありません。そのため、この臨床研究への参加による直接的な利益や不利益はありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で取得した患者情報は、学会等の発表を終了した時点で破棄し、研究以外での使用は致しません。

紙媒体はシュレッダーにかけ廃棄、電子データは復元不可能な形で消去致します。

また、患者さんが本研究への参加取りやめを申し出た際には、その時点で本研究に関わる情報は破棄します。

【研究成果の公表について】

この研究の成果は、関連学会への発表等で公に発表します。その場合もあなたの個人情報は厳密に守られ第三者にわからないようにしています。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用いることはありません。

しかしながら同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように破棄できない場合もあります。

【問い合わせ窓口】

例この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 薬剤部

田中 優希

連絡先：079-451-5500